

今月の特集

★2023年は好条件
ペルセウス座流星群
★ビクセン新屈折望遠鏡レビュー

TOPICS & 連載

☆好評連載 **星空撮影QUICKガイド**

☆巻頭グラビア「月のある絶景」

- ◆今月の星空 / 今月の天体観測 ◆アストロニュース
- ◆月のある絶景 ◆天文学コンサイス ◆読者の天体写真
- ◆観測ガイド 他

天文ガイドホームページ

<https://www.seibundo-shinkosha.net/tenmon/>

書籍のご案内

天文年鑑 2023年版



2023年に起こる天文現象の予報と解説、2021年夏～2022年夏に起きた現象の観測結果をまとめた、天文ファン必携のデータ集。

天文年鑑編集委員会[編]
定価:1,320円(税込)

B6判・384頁 ISBN:978-4-416-52294-3

宇宙大航海時代



宇宙進出に求められる社会的視点の観点、かつて人類が海を渡り大陸を求めた大航海時代に類似性を見出し、新たな指針を探る一冊。

JAXA 宇宙大航海時代
検討委員会[編]
定価:4,180円(税込)

A5判・424頁 ISBN:978-4-416-52271-4

藤井 旭の天文年鑑
2023年版



2023年に起こる天文現象で見えてくる現象はもちろん、毎月の星空ガイドや流星群の見どころもについて、やさしく丁寧に解説。

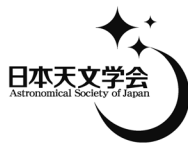
藤井 旭[著]
定価:990円(税込)

B6判・120頁 ISBN:978-4-416-52296-7

誠文堂新光社

<https://www.seibundo-shinkosha.net/>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-11 TEL.03-5800-5780

●お求めはお近くの書店、ネット書店、または……
＜ブックサービス＞0120-29-9625



インターネット
天文学辞典
公益社団法人 日本天文学会

天文・宇宙に関する 3,000 以上の用語を専門の研究者がわかり易く解説。登録不要・無料で、誰でも利用できる「進化する辞典」です。

MENU 天文学辞典 > 太陽系 > 惑星 > 火球

学習レベルで探す ▼ 小学生 中学生 高校生

五十音で探す ▼ カテゴリーで探す ▼ 画像を見る ▼ 動画を見る ▼

火球

よみ方 かきゅう
英語 fireball
説明

学習レベル 高 太陽系 惑星

流星のなかでも極めて明るいもの。流星と火球の境界にはさまざまな定義が使われてきたが、2017年に国際天文学連合のI1委員会(流星、隕石、流星群)が、観測分野の基本用語の定義や縮略語を採択し公表した。そこでは100 kmの距離での明るさがマイナス4等より明るくなったものを火球と呼ぶことにしている。火球では、流星の速度の消滅点である高度80 kmよりも低高度まで流星現象が継続することもある。火球は通常の流星よりも大きな流星(数cmから数10 cm程度)が大気に入ったときに観測されるもので、爆発的な現象が見られたり地上で音が聞こえたりすることがある。落下物質が降るとして採取されることもある。

国際天文学連合のI1委員会による流星天文学の用語の定義と解説:
https://www.iau.org/static/science/scientific_bodies/commissions/i1/meteordefinitions_approve

隕石落下の可能性あり 2020年7月2日...
後で見る 共有

2020年7月2日に東京上空に流れた大火球。その軌道と軌道 (提供: KAGAYA)
https://youtu.be/Muk_XjDINow

関連画像

国立天文台が隕石・流星観測施設で撮影された火球の映像(撮影: 国立天文台) (2019年12月14日撮影) (クレジット: NAOJ) <https://www.ao-nao.ac.jp/2013/05/09/20>

ふたご座流星群に降った火球
撮影提供 (撮影): 高橋洋介 (二次利用許可) 撮影機: 山崎博樹氏 撮影日時: 2009年12月14日12:38:19
<https://headcamp.nao.ac.jp/phenomena/2>

特長

- 急速な発展を続ける天文学分野の用語を随時更新し、最新の情報を掲載
- 豊富なカラー画像や動画を使用しわかりやすく解説
- 研究者向けの専門用語から小・中学生向けの基礎的な用語まで幅広く網羅
- 学習レベルやカテゴリー別に検索できるので教材作りにも役立つ

インターネット天文学辞典

<https://astro-dic.jp/>

